

認知症ってなんだろう ～理解を深め認知症の人を支えよう～



認知症ケアチーム

■精神神経科医師 忽滑谷 和孝

ちまたでは認知症をテーマにした番組や書籍があふれていますが、十分な知識を提供しているとは言えません。不適切な関わりによって、認知症を抱える人のみならず、支える家族が辛い経験をされていることもあります。

精神科医の立場から、認知症の原因となるアルツハイマー型認知症と血管性認知症を中心にその病態、症状、その治療法についてお話します。

正しい知識や対応方法を身に付け、少しでも日常生活が豊かになるようなきっかけになれば嬉しいです。

■ソーシャルワーカー 鈴木 結惟

皆様こんにちは。柏病院のソーシャルワーカーです。私たちソーシャルワーカーは病院の相談窓口にいる社会福祉の相談員です。病気や障害によって生じる生活上の困りごと、例えば、医療費等経済的問題、介護や療養場所についての相談を承っています。今回の講座ではご家族が認知症になったとき、どこに何を相談できるか、介護保険でどのようなサービスを利用できるか、お話させていただきます。介護の負担をご家族だけで抱えてしまうと疲弊してしまいます。社会資源をうまく活用することで、介護者のQOLを維持しながら、無理のない支援を続けていくことが重要です。一緒に考えてより良い介護ができるようにしましょう！

■管理栄養士 湯浅 愛

身体と心の健康を保つためには食事は切っても切り離すことができない存在です。脳の機能維持にも栄養は必須で、栄養の偏りは、「脳の栄養失調」につながります。普段の食事からいろいろな食品を摂取することで認知機能低下の危険性が減少することが分かっています。また、食事は栄養素を補給するだけでなく、味覚・触覚・聴覚・嗅覚・視覚の五感を刺激する、精神的な満足度を与える、他者とのコミュニケーションを図るなどの、心と体の栄養になります。この機会に「栄養」について一緒に考え、学んでみましょう！

■認知症看護認定看護師 石井 晃子

人生100年時代、自分や家族が認知症を患った場合、どのような生活が待っているのか考えることがあるかもしれません。認知症は高齢者に多く見られる病気で、時に家族や本人に大きな影響を与えます。それでも住み慣れた環境で生活をするためには、適切なケアや支援が不可欠です。認知症と共に過ごす日々の中で、本人や家族が安心して生活を送るには、適切な看護や支援は欠かせません。今回の講座では、認知症看護において、より良い生活を目指すための実用的な工夫やヒントについて触れていきます。少しでも日々の生活に役立つ内容となれば幸いです。

慈恵医大柏病院 市民公開講座

当日MCI脳トレ士 伊藤玲子様による コグニサイズと、講演会終了後にはミニフレイルチェックをご体験いただけます。（※レクリエーションを目的としており認知症等を診断するものではありません。）

■事前申込制（QRコード、ホームページより） 定員60名

■会場 院内研究棟4階 多目的会議室

（当日正面入り口より案内表示に従ってお越しください）

■参加費 無料

■お問合せ先 【管理課】 ☎0570-04-7164（ナビダイヤル）

申込はこちら

